

令和 7 年 1 月 30 日
株式会社シーエス・ワンテン
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

ディズニージュニア 番組審議会議事録

- ・日時 令和 6 年 12 月 3 日(火)16:00～
- ・開催場所 東京都港区虎ノ門 1-23-1
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社 27 階会議室
- ・参加者 審議委員総数 9 名
出席委員数 6 名
書面参加委員数 2 名
欠席委員数 1 名

(出席委員名)

- 委員長 村川 幹夫 ((株)オリコン ME WEB 編集本部 執行役員／編集長)
- 委員 清水 優子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)
- 委員 太田 美千子 ((株)講談社 第三事業本部 副本部長兼こども事業部長)
- 委員 須貝 駿貴 (学術博士・QuizKnock)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 堀越 礼子 ((株)朝日新聞社 取締役)

(書面参加委員名)

- 委員 パトリック・ハーラン (タレント・大学講師)
- 委員 吉田 千佳 (ユーチューバー)

(欠席委員名)

- 副委員長 藤田 興彦 (学校法人和田実学園 元評議員)

(衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン)

- 福田 泉 (代表取締役社長)
- 中口 裕丈 (編成局長)

(番組供給事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社)

- 小峰 利憲 (取締役)
- 竹内 文吾 (編成 マネージャー)
- 待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)

山本 綾子（編成 スペシャリスト）

戸泉 真佑子（編成 ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社）

田内 恵美子（編成 ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社）

- ・議題
(1) ディズニージュニアの番組編成について
(2) 審議番組『パップストラクション』について

・議事内容

（以下、＊：委員からの意見・質問、→：ディズニーの説明・回答）

（1）ディズニージュニアの番組編成について

→12月の編成ハイライトは下記の通り：

- ・1日（日）10:00-12:00
特別編成「キンダーガーデン・ミュージカル スタートスペシャル」。
- ・21日（土）14:00-16:00
特別編成「パップストラクション わくわくサタデー！」。
- ・7日（土）、8日（日）、15日（日）、22日（日）、24日（火）、25日（水）など
特別編成「ディズニージュニア すてきなクリスマス」。
- ・その他、12月23日（月）～1月3日（金）は冬休み編成。

（2）審議番組『パップストラクション』について

・放送概要：

令和5年12月17日（日）に、日本初回放送。

約23分×全25話（第1シーズン）。

・番組内容：

かわいい子犬たちの建設チーム、パップストラクションの活躍を描くアニメーション・シリーズ。体は小さいけれど大きなアイデアを持った物作りの天才、コーギーのフィニーとその仲間たち（力強いロットワイラーのロキシー、とぼけたシープドッグのルナ、優しいマスティフのタンク）が、ペットタウンのみんなを助けるために、大きなトラックを操り力を合わせてさまざまな物を作る。今日はどんな仕事が待っているのか？

→作品のポイントは、様々な建設車や物づくりの創造性に自然と触れられるところ。

→また、何度失敗しても、持ち前のアイデアと仲間たちの団結力で解決に導くシーンも、この作品の見どころ。

→本シリーズは今年の **Kidscreen Awards** の最優秀新シリーズにノミネートされている。

- *最初に触りたいと思ったくらい毛並みがあってかわいいと思った。
- *大人が見ても面白い、親子で見るととてもいいと思う。
- *色が綺麗で、毛並みまでちゃんと出ていて、技術の高さにひたすら感動した。
- *前向きなものを子供のころに見せておきたい。明るいものを色々と吸収できたら、その後に繋がるのではないかと思った。
- *犬に関してはかわいいので、子供も引き込まれていくんだろうなというのを非常に強く感じた。
- *物作りという点では、主人公が失敗しても失敗してもトライ&エラーで、繰り返し繰り返してやっていくっていうエネルギーを感じる。
- *日本のアニメだと「こうやるんだよ」と教えるものが入ったりするが、あえてそれがないのは面白いなと思った。
- *最後のシーンにて、橋で観覧車を乗せるっていう素晴らしいアイデア。自分では思いつかなかった。
- *また、壊すのが大好きなところで、動きが相当多くていろんな角度でどんどんいくスピード感、みんなで色んなアイデアを試していく協調性など、ワクワクして見た。
- *子供向け番組として問題ない。歌も定期的に入るし、色も明るくポップな色で、今まで見せてもらったキッズ向け番組と比べても、違和感や遜色も無いと感じた。
- *この作品はテンポが速く、会話も速いと思った。これははたして4歳くらいの子供に分かるのかな…と少し気になった。
- *だが、ジッとして居ることが苦手な子には、これぐらい目まぐるしく変わるのがフィットするだろうとも思った。その速さの一端は、事前に何かを教えるパートが特に無いとか、そういうところも関係しているのかなと思った。
- *義足のロキシーが登場するのは、とてもよいコンセプト。この作品内においては、多様性のある登場人物は、ロキシーで十分と思われる。別の作品にて、また何か別の障害を持つキャラが自然に登場すれば、それを見た子供たちが実際に外を歩いていて、「あ、この光景は、『パップストラクション』で見たことがある」と思わせることができれば、子供たち向けとして大変良いチャンネルとなる。
- *エピソードの中の教訓にも良い要素が入っている。まずは得意なことを全て試してみて、それでもどうしても解決できない時には全く別的手段を試してみるという考えに至る展開は良い。
- *日本人の小学生も、こういうのを見たほうが良い。簡単に解決策を知りたがる子供がいるが、「その前にすべてを試してみたのか？」と思うことがある。この作品を見れば、意識が変わると思う。
- *実際にやってみるということが大事なので、やってみたいと思わせてくれる良い構成の番組だ。

- * 犬も可愛くて、工作機器っていうのも子供は大好きで鉄板と言える。
 - * 親が見ていても本当に安心できる要素も多いし、車椅子が自然に出ている多様性もある。
 - * 物作りの大切さも、ディズニーらしい。物作りの妖精のティンカーベルを思い起こすようなところがあり楽しめた。
 - * テンポが速く、どんでん返しの落ちもあるので、結構大人っぽい作りなのかもしれない。
 - * 4歳の子供に見せたら、普通に楽しんでた様子。細かいことまでは理解できないかもしれないけど、全体的に楽しむような形で、ついていける流れというのは進化を感じる。
 - * こういうアニメを見てる子は、犬をいきなり骨格通りに書けるのか、それともやはり自分の身体の延長法で、自分がワンちゃんを書くときは人間の四つん這いとして描くだろうか…。いま幼児教育は、大きな文化の分岐点に来ているようにも感じる。
 - * 二足歩行の動物的なアニメキャラと四足歩行のアニメキャラを、どのようなバランスとタイミングでディズニーが選んでいるのかについて、すごく関心がある。
 - * 問題解決に取り掛かる、仲間を大切にする、一回失敗してもくじけない、何かあったら、歌おう、といったディズニーらしさが在る。そうした大事なメッセージが楽しく伝えられている。
 - * 昔ヒットした子供番組を想起させるところがあるのでオリジナリティーが少し足りないところもあるが、それでも内容自体は十分に面白い。
 - * ストーリーも喋り方もシンプルで、まだ幼い自分の子供も内容を理解して見れた。
 - * 母親が違う犬種のダルメシアンだったり、後ろ脚が無いワンちゃんも居たりするが、敢えてそこには特に触れることはなく、ごく普通のことのよう表現しているところにも、ダイバーシティーの配慮を感じた。
 - * 物を壊すのをロキシーが担当することで、男の子っぽい／女の子っぽいという概念を取り払おうとしているのではないだろうか。つまり、これはジェンダーニュートラルにする取り組みの一つだと思う。
 - * 自分の子供もロキシーと同じように、「壊すの大好き」と笑顔で言うのだが、どう受け止めるべきなのか…と思った。つい、「壊したらダメだよ」と叱ってしまうのだが、それよりも作る喜びというものをまずはもっとしっかり教えれば、考えなしに壊してはならないということを自然に理解してくれるのかもしれないと、この番組を見て改めて感じた。
- 後ろ足に障害を持つロキシーのごく自然にチームの一員として活躍する姿が、障害を持って生きる方の一助になればと思う。
- また、作品のテンポについてご意見を頂いたが、とても参考になる。特に昨今、タイムパフォーマンス（時間対効果）というものが重要視されるようになった中で、この番組もそれを意識して制作したのだと思うが、この速いペースでも、伝えられるべきことがちゃんと伝わるだろうか…という心配が少しあったが、メッセージは伝わるのご感想を頂いたことは大変心強い。

・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和 6 年 12 月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：

令和 7 年 1 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上

